



ふくろう通信

第50号
2018年7月20日
自然博物館 ねいの里

「楽しかった！」の声に支えられた 「おや子で道くさ in ねいの里」

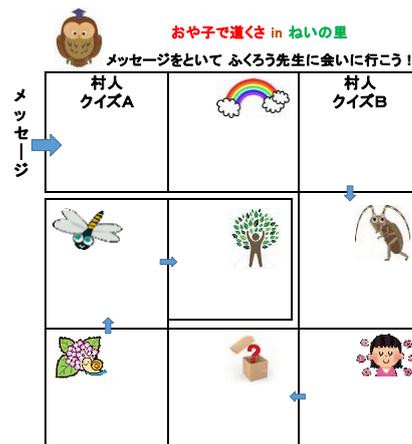
ねいの里自然塾の会会長 石澤岩央

2017年1月から4回にわたって実施した、Save Japan Project「おや子で道くさ in ねいの里」が、この5月27日の初夏の章をもって終了しました。会員の皆さんをはじめ関係者の皆さんに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

さて、4回の行事を振り返ってみると、一体なにをするの？何をしたいの？という皆さんの声が聞こえてきそうです。実際4回の行事は毎回違ったもので、でも、良い意味で少しずつ進化したようにも感じています。



最初は、カンジキハイクとネイチャーゲームを織り交ぜて、2回目は自然解説型クイズとネイチャーゲームを、3回目はクイズで宝探しとネイチャーゲームを、最後は、里山クイズとネイチャーゲーム（自然体験）でメッセージを解いて、終わりに宝探しネイチャーゲームという形になりました。試行錯誤はありましたが、自然塾の会、そしてねいの里にとっても、いろんな意味でよい経験になりましたし、今までにない行事の展開が可能になったのではと思っております。



要は、親子でねいの里に来てもらい、自然を体いっぱい感じてもらうとともに、自然を通じて親子の触れ合いを深めてもらうという単純なことでした。それが終わってからやっと実感として分かったという愚かでそそかしいお話でしたが、実感できたことは得がたい経験になったと思うのです。

細かい行事の内容は書ききれませんが、4回の参加者アンケートには、「宝探しが楽しかった」「いろんなネイチャーゲーム楽しかった」「久しぶりに子どもと楽しいコミュニケーションの場となった（ある父親）」「いろりでのマシュマロ焼きがおいしかった」など様々な意見があったことを皆さんにお伝えしたいと思います。また、参加スタッフ一同「ああ、面白かった！」という言葉で終わったことは、何よりも嬉しいことでした。本当にありがとうございました。



そうそう、11月4日に、もう一度「ネイチャーゲームと宝探し」を実施することになっています。自然塾の会とねいの里の協働事業になります。また皆さんのご協力をお願いしたいと思っております。よろしく<m()m>します。

古代ハスを知っていますか？

ネットで検索すると、「古代ハス」や「縄文ハス」と呼ばれているハスがいくつか出てきます。まず有名なのが「大賀ハス」。その他には「行田ハス」、「枚岡の原始ハス」、「館林・城沼のハス」、「中尊寺・古代ハス」、「中国大連市・古代ハス」など。

古代ハス：古い遺跡などで眠っていた種子が発芽したものや、古くから生き残っていることが分かるハスを古代ハスと言っています。

古い種子が発芽したもの：大賀ハス、行田ハス、中尊寺のハス、中国大連市のハス。

古くから生き残っているもの：枚岡の原始ハス、城沼のハス

《大賀ハス》千葉県天然記念物に指定されています。1951年（昭和26年）に千葉県の落合遺跡（「縄文時代の船溜まり」であったと推測されている）から発掘された3粒のハスの実を、植物学者でハスの権威でもある大賀一郎博士が発芽育成に成功したことで有名になりました。同じ地層から発掘された丸木舟の破片の年代測定の結果、ハスの実は2000年前の弥生時代以前のものであると推定されました。（参考：Wikipedia）

ねいの里にあるものはこのハスで（写真）、大賀博士の出身地である岡山県の岡山市埋蔵文化財センターから、2004年（平成16年）に7株を譲り受け移植したものです。



朝早く、濃いピンクの花を咲かせ、昼過ぎには花を閉じてしまいます。

開花2日目の花が見栄えがよく、4日目には散り始める寿命の短い花です。

《行田ハス》埼玉県行田市の天然記念物に指定されています。公共施設建設工事の際に掘削地の池でハスの種子が自然発芽し1973年（昭和48年）に開花したもの。自生する付近は「古代蓮の里」として整備されています。出土した地層の遺物や木片の年代測定から約1400年～3000年前のものとして推定され、古代ハスと呼ばれています。（ただし、「種子を直接測定したものではなく、ずっと新しい年代の種子が発芽した可能性も否定できない。」とのこと。）（参考：Wikipedia）

《中尊寺ハス》別名「^{やすひら}泰衡蓮」とも呼ばれています。1950年（昭和25年）の平泉中尊寺金色堂の調査の際、四代泰衡の首桶から約100粒のハスの種子が発見されました（約800年前のものとする）。その一部から1995年に大賀博士の弟子が発芽育成に成功したものです。（参考：Wikipedia）

《枚岡の原始ハス》「古事記」の中で歌人の引田部赤猪子が「日下江の入江のハチス花ハチス 身の盛り人羨しきろかも」と詠んだハスと言われ、約1600年前から咲き誇っていたとされています。大正時代までは、東大阪市善根寺町付近に多く自生していましたが、戦後大発生したアメリカザリガニに食い荒らされ、一時絶滅寸前になりました。1962年（昭和37年）に稲田さんという方が自宅の池に移植して育成を続け、1970年（昭和45年）大阪府の天然記念物に指定されました。（参考：東大阪市ホームページ）

《城沼のハス》館林市の城沼に自生するハスのうち、ほぼ西半分の群落が1400～3000年前から自生している沼固有のハスであることが研究者の調査で明らかになりました。「大賀ハス」や「行田ハス」と遺伝子の比較をしたところ90～100%近く一致し、花卉数も古代ハスの特徴とされている15～20枚でした。他の古代ハスと違い、花の多くが葉の下で咲くという特徴があります。

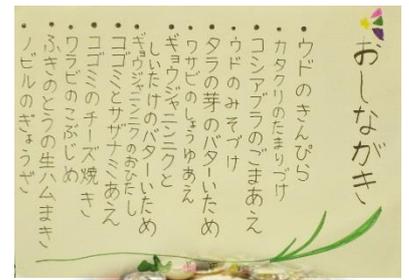
（参考：観光情報サイト「きたかんナビ」）

(4月22日) 「春の森でチャレンジ～山菜クッキングを楽しむ～」



園内を散策して、チャレンジカードに示された食べられる山野草を探します。旬の山野草を採るのには、まず時期が大切なのは言うまでもなく、生える場所の検討を付けないと効率よくいきません。これは経験がものを言います。

採取した山野草と、事前にスタッフが用意したものを、皆で調理し試食をしました。ノビル入りのギョウザが好評でしたよ。(今回のメニューは、見にくいですが、「おしながき」をご覧ください。)



(5月6日)

早朝バードウォッチング



昨年に続き 2 回目の早朝バードウォッチングです。さわやかな早朝の園内を、小鳥のさえずりを聞きながらゆっくり散策するのもいいものです。今回は 11 種類の鳥を確認できました。



(エナガ)

(確認できた鳥)

イカル、エナガ、キビタキ、コゲラ、シジュウカラ、スズメ、センダイムシクイ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ヤブサメ、ヤマガラ

(6月10日)

自然塾の会「有峰の自然観察」

自然塾の会では有峰の自然観察を行いました。当初、大多和峠付近の観察をする予定でした。ところが有峰林道は6月1日に開通したばかりで、大多和峠方面はまだ通行止め。予定を変更して冷タ谷で観察することに。頭上から降り注ぐエゾハルゼミの蝉時雨を浴びながら散策開始です。石澤さん(自然塾の会会長)の蒞臨に耳を傾けながら、のんびりと冷タ谷を一周しました。



(エゾハルゼミ)



(ウラジロヨウラク)



(レンゲツツジ)



(ベニバナイチヤクソウ)

(写真のほかに出会えた花)
ラショウモンカズラ、ミヤマタムラソウ、タニギキョウ、コケイラン、ヤマクワガタ、ギンリョウソウ、...

(6月16、23日)

ヘイケボタル観賞会



恒例のヘイケボタル観賞会です。竹細工や昨年からは始めたバイオリンのミニコンサートも好評でした。両日も気温が低めで、飛び回るより草むらの中で光るホタルの方が多く、ちょっとさびしい観賞会となりました。それでも、「ゲンジボタルよりも風情がある」という声も聞こえ、満足して帰られた人も多かったようです。



ねいの里 これからの行事案内

● 7月27日（金）、28日（土）「夏休み自由研究支援隊」

9:30 ~ 15:30 集合場所：ねいの里

夏休み自由研究の相談を受け、調査内容やまとめ方の指導を行います。

（対象：小学3年以上、定員：1日5人）

● 8月5日（日）「トンボの調査と標本作り隊」

9:30 ~ 12:00 集合場所：ねいの里

ねいの里のトンボを観察し、採取したトンボの標本を作ります。

（対象：小、中学生、定員：20名）



● 8月25日（土）「水辺の生き物観察～外来生物について考える～」

9:30 ~ 12:00 集合場所：ねいの里

水辺の生き物を観察しながら、ウシガエルなどの外来生物の駆除を行います。

食用になる外来生物の試食も行います。

（定員：30名、参加料：外来生物の試食200円）

● 9月9日（日）「アサギマダラ調べ隊」

8:00 ~ 17:00 集合場所：教育文化会館前、富山駅北口、アルペン村

有峰湖周辺で、アサギマダラの渡り調査のためのマーキングを行います。

（定員：20名、ジュニアナチュラリスト優先）



● 10月7日（日）「キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ」

9:30 ~ 12:00 集合場所：ねいの里

ねいの里の園内でキノコ狩りを楽しんだ後、キノコ鍋の試食を行います。また、専門家による採取したキノコの鑑定もあります。

（定員：300名、参加料：キノコ鍋の試食200円）



***** 〈行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。〉 *****
受付開始は、行事实施の約1ヵ月前からになります。

■ 企画展

6月30日 ~ 8月1日 富山県自然保護協会環境写真展

7月14日 ~ 8月20日 県内のカブト・クワガタ展

8月2日 ~ 8月19日 環境月間ポスター展

8月22日 ~ 9月24日 秋の鳴く虫展

9月5日 ~ 11月26日 ねいの里キノコ写真展



○ 「ねいの里自然塾の会」会員の駐車場利用について

会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用来ます。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>